



～時代を読む力～

兵庫医科大学ささやま医療センター
平山 伸一

今回の第63回学術大会を港町神戸にある『ホテルクラウンパレス神戸』にて2日間開催することになり、令和元年の大会テーマを『START UP Radiological Technology ～時代を読む～』とさせていただきます。

スタートアップとは、現在世界を圧巻する（GAFA）と呼ばれている企業 Google, アマゾン, Facebook, アップル達のような起業家の概念をさすものであります。

彼らが成功した裏には、時代の流れと顧客から求められる熱烈なプロダクトとアイデアを迅速に実践した結果と考えます。この事象は、我々が置かれている放射線医学界でもまさに今起きています。放射線機器の進歩もさる事ながらディープラーニングによるAI画像自動診断、分子イメージング、支援ロボット技術、ビッグデータの応用などの進化は、現場にいる私も日々の変化に驚かされる昨今です。

この変化に放射線技術学を専門とする学会としては、従来目指していた視点を大きく見直す時期にきているのではないのでしょうか？そこで起業科学としての総称：『START UP』の原則から、今後の学術研究テーマを決める手段に岡山実行委員長をはじめ兵庫県を代表する実行委員メンバーにより、数々のテーマに沿った企画をプランニングしました。

まず特別講演は兵庫医科大学泌尿器科 兼松明弘准教授に『尿道狭窄症の治療と画像診断』を講演テーマとして、尿道形成に大きく関与する画像診断についてお話していただきます。

シンポジウムは、『放射線部門における災害時の備え：BCP』、『脳梗塞診断と治療の今』、『AIの医療への応用』と3テーマを企画しました。各々に教育講演、その道のスペシャリストである医師、放射線技師の先生方に講演していただきます。

実行委員会の企画からは、『関西の研究会集合』『一から学ぶ虚血性心疾患に対する各種モダリティの撮影方法』『RDSRの現状と被ばく管理の今後と展望』『MRI複合機と術中システムの現状と展望』と関西における熱中塾である各研究会代表による発起の経緯戦略の話からの最新話題まで4企画を討論形式で行います。

ハンズオンセミナー1は、『乳腺エコー』をテーマに、エコーの匠3名の講師を招聘し、学術大会初の試みとして乳腺超音波検査における教育講演と、超音波装置とファントムによる実習を体験してもらいます。

ハンズオンセミナー2は、『計算実習CTDI』をテーマに静かな空間別室においてじっくり勉強してもらいます。皆様是非参加してください。

その他に医療安全、倫理規定、線量校正をテーマにフレッシューズセミナー、神戸のお菓子を味わいながら聴講するスイーツセミナー等趣向を変えた企画が盛りだくさんです。

また学会開催初日は、神戸煉瓦倉庫『K-wave』にてJAZZバンドほか楽しい催事を情報交換会を企画しています。阪神・淡路大震災犠牲者への鎮魂の意を込めると共に、都市の復興・再生への夢と希望を託した第25回神戸ルミナリエも近隣で開催中です。

この機会に素敵な神戸の夜も満喫していただけることと思います。ご多忙中、誠に恐縮でございますが、是非ともご来臨の栄を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。